



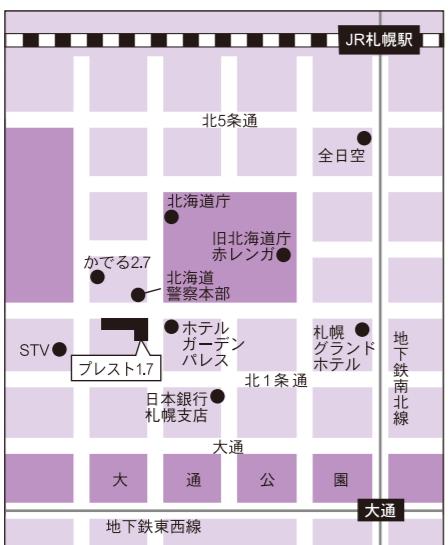
## [公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構とは…]

平成9年5月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年7月から施行されました。

当財団は、平成9年7月、北海道札幌市内に事務所を、同年9月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

### 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7(5階)



The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture (FRPAC)

Presto 1.7 (5F), Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan

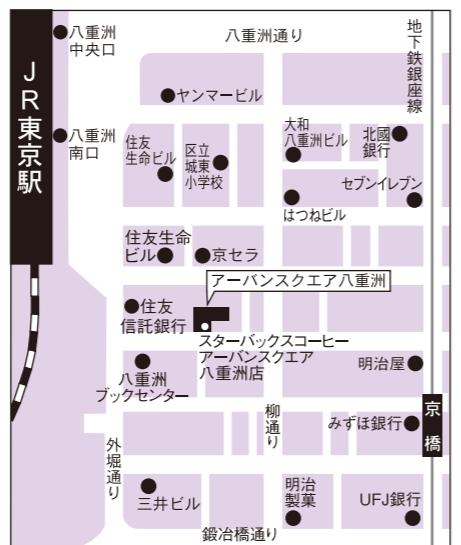
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181

ホームページ <http://www.frpac.or.jp/>

e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

### アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号 アーバンスクエア八重洲(3階)



Ainu Culture Center, Tokyo

Urban-Square-Yaesu (3F), 4-13, Yaesu2, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan

TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155

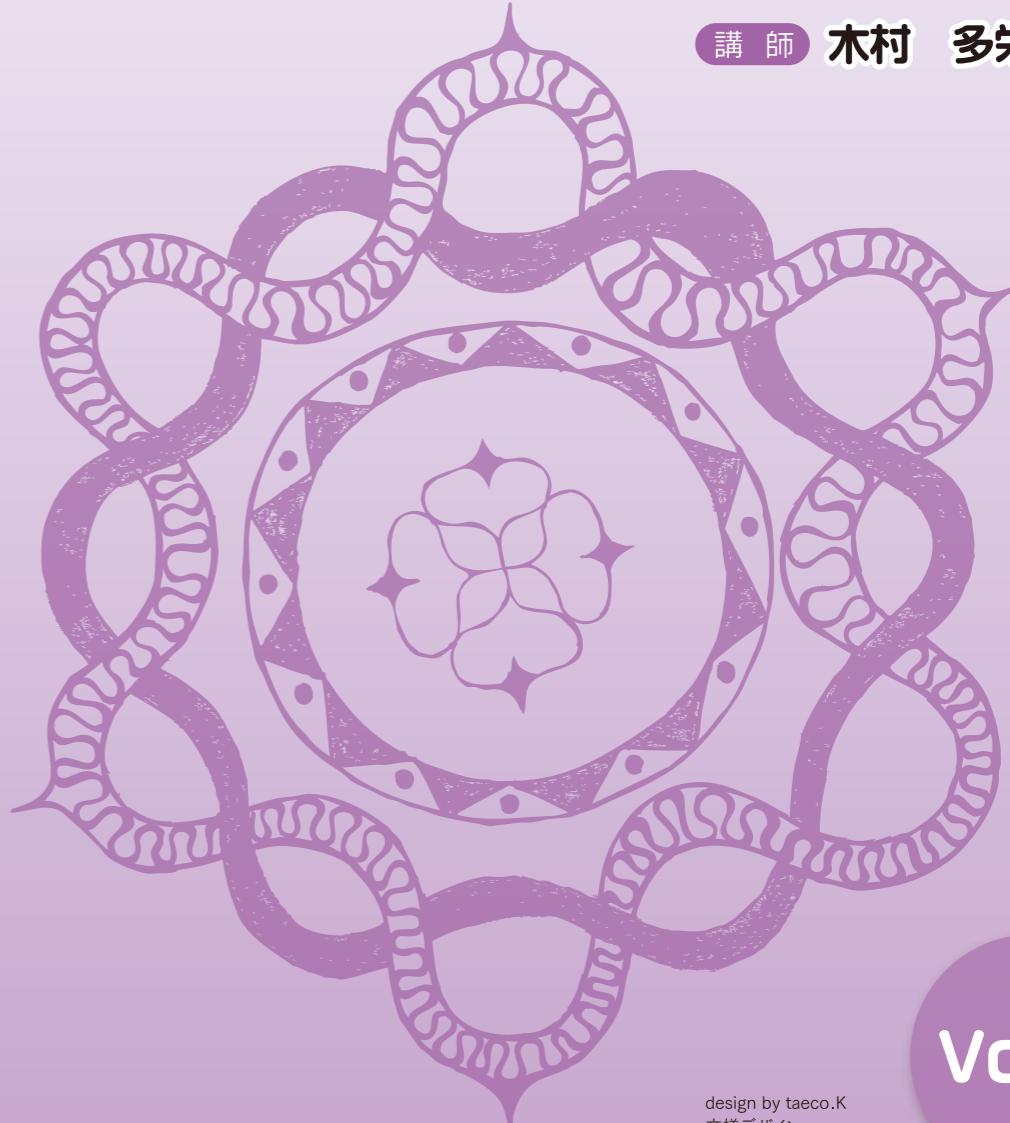
e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

平成25年度

1月▶3月(Vol.4)

# アイヌゴラジオ 講座

講 師 木村 多栄子



Vol.4

design by taeco.K  
文様デザイン

### STVラジオで放送中

◆本放送 毎週日曜日 あさ 7:00~ 7:15

◇再放送 每週土曜日 よる 23:00~23:15

(平成24年10月6日より放送時間が変わりました)

平成25年度

1月▶3月(Vol.4)

# アイヌゴラシオ 講座

講 師 木村 多栄子

Vol.4



design by taeco.K

放送内容はインターネットでも配信しています。

STVホームページ <http://www.stv.ne.jp/radio/ainugo/index.html>

## 講師のプロフィール

木村 多栄子  
きむらたえこ

母系がアイヌの家庭に生まれる。三歳までは沙流郡平取町ペナコリに住み、両親と祖母のいる姉茶に移り住む。幼い頃は共働きの両親に代わって、祖母に育てられ、生活の中にはアイヌ文化が息づいていた。思春期の頃に”アイヌ”から離れ20代の初めに関西圏へ移り住み、改めて北海道を見つめ直すことになった。浦河で機動訓練織布科への参加をきっかけに本格的にアイヌに伝わる手仕事を始める。関西から東京都にあるアイヌ文化交流センターに通いアイヌ語や着物制作を学び、祖母、母などファミリー三世代にわたる展覧会を開催(名古屋、佐渡島、札幌など)する。また、大阪人権博物館、国立歴史民俗博物館において作品が常設展示、NHKのcool 北海道のタイトルバック、映画シネウップロの監督を務めるなど多岐にわたって活動中。伝承者育成事業 第1期修了生。



### 協力者の紹介



堀 悅子  
ほり えつこ

浦河町姉茶に生まれる。姉が阿寒湖に嫁に行ったのがきっかけとなり、その後、二風谷で民芸店をする合間にムックリの練習をしたり、本を読んだり、行事に参加して興味を持ち始める。姉茶に戻り、祖母とともにアイヌ文化伝承の活動を始める。北海道ウタリ協会(1978年当時)に入会して、歌や踊り、手仕事、料理等多くの技術を体得。現在、アイヌ生活相談員として活動しながら、キロロアンの講師を務めている。



遠山サキ  
とおやま サキ

アイヌ文化全般にわたる知識と技能・技術を体得した伝承者であり、昭和35年、姉茶民芸品研究会設立以来、アイヌ古式舞踊の伝承・保存活動に従事するとともに、自らもアイヌ文化の振興と伝承・保存に尽力した。また、機動職業訓練織布科、浦河アイヌ語教室、財団法人アイヌ民族博物館の職員研修などでは、講師として後進の指導育成に取り組んできた。現在、大学や各団体、日本ののみならず、海外からも呼ばれ自らの生き立ちやアイヌ文化など講演し、アイヌ文化の普及啓発に大きく貢献している。

### ■支援研究者

太田満  
おおたみつる

北海道赤平市生まれ。旭川アイヌ語教室等でアイヌ語教育に努める。現在、(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構が実施している指導者育成事業、語り部育成事業(旭川・浦河)の講師として、アイヌ語の指導にあたっている。

### ■支援研究者

大野徹人  
おおの てつひと

香川県出身。高校時代にアイヌ語に関心を持ち、独学で勉強を始める。2004年に様似町に移住し、同町アイヌ生活相談員に就く。そのかたわら道内各地でアイヌ語の講師を務める。

### 【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(浦河の方言)をベースにしています。

## アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	LESSON	テー マ	ページ
1月	5日	40	～できる一助動詞(3)	4
	12日	41	～できない一助動詞(4)	6
	19日	42	「～で」「～に」の表現	8
	26日	43	「～で」「～に」の表現—その2	10
2月	2日	44	「～から」の表現	12
	9日	45	「～へ」の表現	14
	16日	46	受身のアン an=	16
	23日	47	会話1 久しぶり	18
3月	2日	48	会話2 店を探して	20
	9日	49	会話3 レストランにて	22
	16日	50	会話4 空港にて	24
	23日	51	会話5 浦河へ	26
	30日	52	山バトの歌	28



### ポスター写真の山について

かむいだけ

神威岳は、北海道広尾郡大樹町と浦河郡浦河町とにまたがっている山です。

日高山脈南部にあり標高1,600mの威風堂々とした山容で、南にあるソエマツ岳、ピリカヌブリとともに南日高三山と呼ばれています。さらに日本三百名山にも選定されています。

語源はアイヌ語で“神の山”を意味する「カムイ・ヌプリ」から由来しています。

poster design by taeco.K

## 例文

1. エマ エアシカイ ヤ?  
E=ma easkay ya?

あんたは泳げるか?

2. アイヌイタク クイエ エアシカイ。  
Aynuitak ku=ye easkay. 私はアイヌ語を話すことができる(話すのが上手だ)。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アイヌイタク	Aynuitak	名詞 アイヌ語
イエ	ye	他動詞 ~を話す
エ	e=	人称接辞 あんた
エアシカイ	easkay	助動詞 ~できる
ク	ku=	人称接辞 私
マ	ma	自動詞 泳ぐ
ヤ	ya	終助詞 ~か

## 今日の学習

## 1. 可能を表すエアシカイ easkay

このレッスンでは、可能性を表す助動詞、エアシカイ easkayを習います。この言葉は動詞のあとにつけて、「できる」という意味になります。

エアシカイ easkayには、「~が上手だ」という意味もあります。例文2は「アイヌ語を話すのが上手だ」という訳になることもあります。

また、アシカイ askayという言葉があり、これは「上手である」という意味の自動詞で、特に手先が器用なことを意味します。

## 2. 自動詞マ maについて

「泳ぐ」という意味でよく使われる言葉です。マレウレウ marewrew(蝶)のマ maも「泳ぐ」の意味であると言われています。レウ rewは「とまる」という意味です。レウレウ rewrewと言葉を繰り返すと「何回もする」「あちこちにする」という意味になります。空中を泳ぐように飛んではあちこちにとまるのでこういう名前になっているのではないかと思われます。

また、同音異義語でマ maには、「~を焼く」という意味(他動詞)もあります。以前出てきましたチマチエプ cimacepも分解するとチ・マ・チエプ ci-ma-cep=人が・焼いた・魚、となります。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

## 1. 今日あんたは行くことができるか?

オマン oman 行く ヤ ya ~か タント tanto 今日 エ e= あんた  
エアシカイ easkay ~できる

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ?

## 2. 私のおじいさんはバイオリンを鳴らすことができる。

コル kor ~の バイオリン VIOLIN (外来語) エアシカイ easkay ~できる  
ク ku= 私 エカシ ekasi おじいさん レクテ rekte 鳴らす

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) 。

## MEMO

## キーワードで見るアイヌ民族

イタク itak

「話す」という意味の自動詞であり、「言葉」もしくは「話」という意味の名詞でもあります。

例えばアイヌイタク Aynuitakというと、「人間の言葉」でもあり、「アイヌ語」をも指します。

アイヌ語弁論大会のイタカン ロー! itak=an ro!のイタカン itak=anは、イタク・アン=話す・私たち、です。

イタク itakが含まれた言葉はたくさんあります。イソイタク isoitakというと、「よもやま話(をする)」という意味になります。イソ isoには「獲物」という意味があり、獵(漁)があったとか、獲物の話ををするというのが原義だと言われています。

浦河では、「昔話」をイソイタッキ isoitakkiと言います。分解するとイソイタク・キ isoitak-kiとなり、「よもやま話・する」となり、昔あったできごとをあれこれ話して伝えることを指していると思われます。ほかの地方では、昔話をウエペケル uwepekerなどと呼びます。

また、神様が主人公の物語(神謡)をカムイユカル kamuyukarもしくはオイナ oynaと呼ぶ地方が多いですが、浦河ではトイタク tuitakと呼びます。ト tuについては、意味がよく分かりません。

アイヌ民族にとって、言葉は大事なものであると言われており、男性ならば神への祈り言葉をきちんと唱えられることが大事であると言われていました。祈り言葉をイノンノイタク inonnoitakと言います。

また、昔から伝わる伝説や物語をきちんと知っていて語る能力も大事でした。ヤイラブ yayrapという英雄叙事詩(ほ)かの地方ではユカル yukarもしくはサコルペ sakorpe)を語ることのできる長老は村人たちの尊敬を集めました。

アイヌ民族の男性が兼ね備えるべき3つの美德は、シレトク siretok(容貌、風貌)・ラメトク rame tok(度胸、勇気)・チャウエトク cawetok(雄弁、弁舌)であるとよく言われます。





## 「～で」「～に」の表現—その2

## 例文

1. ヌマン ハポ チセ オッタ イカルカル カネ アン。  
Numan hapo cise otta ikarkar kane an.

昨日母は家で刺繡していた。

2. ユポ アナク ペッ オッタ スシ ワ エク。  
Yupo anak pet otta sus wa ek.

兄は川で水浴びをしてきた。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アナク	anak	副助詞 ～は
アン	an	自動詞 いる(单数)
イカルカル	ikarkar	自動詞 刺繡する
エク	ek	自動詞 来る(单数)
オッタ	otta	位置名詞+後置詞 ～で
カネ	kane	接続助詞 ～しつ
スシ	sus	自動詞 水浴びをする
チセ	cise	名詞 家
ヌマン	numan	副詞 昨日
ハポ	hapo	名詞 母
ペッ	pet	名詞 川
ユポ	yupo	名詞 兄
ワ	wa	接続助詞 ～して

## 今日の学習

## 1. オッタ ottaの用法

レッスン42で勉強した位置名詞オル orと、後置詞タ taの結合した形であるオッタ ottaについて詳しく勉強します。本来は、オル orとタ taは別の語ですが、ほとんど一体のものとして使われることが多く、このテキストではくつけて表記しています。文献によっては、オッタのローマ字をottaでなく、orとtaを離して書き、もとの発音のままor taと書くこともあります。

タ taとオッタ ottaは使われ方が非常に近く、違いが分かりにくいものです。どちらも「～に」「～で」という訳になり、動作の行われる場所や行き先を示すものです。

もしくは、オル orが所属形になり、オロタ orotaという発音になることもあります。

レッスン15と21で触れましたが、場所名詞・位置名詞や、名詞の所属形などのあとには、タ taが通常使われますが、それ以外の普通の名詞の場合は、オッタ ottaを使います。理屈で覚えるよりは、たくさんの実例に触れる中で少しづつ感覚が分かってくるのではないかと思います。

例文1のチセ オッタ cise ottaをチセ タ cise taとは通常言いません。例文2のペッ オッタ pet ottaもペッタ pet taとは言いません。

また、逆に、レッスン42の例文に出てきた、チセ オシケ タ cise oske ta(家の中に)をチセ オシケ オッタ cise oske ottaとは言いません。

地名(固有名詞)の場合は、タ taを使うことが多いようですが、オッタ ottaを使うこともあります。レッスン42の例文1のシラウォイ タ Sirawoi ta(白老で)を、シラウォイ オッタ Sirawoi ottaと言ふこともできます。

## 2. イカルカル ikarkar(刺繡する)

カルカル karkar(～に刺繡する)という自動詞に接頭辞イ i-(それ)がついたものです。カルカル karkarは、「～をきれいにする、飾る」という意味になることもあります。

例えばチ・カルカル・ペ ci-karkar-pe(人が・刺繡した・ものは)は、刺繡を施した木綿の着物のことです。浦河や様似、静内地方では特に文様を切り抜いた白い布を縫い付けて刺繡したものを持っています。これはカパラミピ kaparamipと呼ばれることが多いのですが、着物の名称は地方差があり、地方によって同じ名前で違うものを指します。平取などではアット・attusのような作りの、黒布を縫い付け刺繡を施したものを持ち、道東や千歳では切り伏せではなく、刺繡のみを施した着物を本来指す言葉だとのことです。

## 3. スシ sus

川で水浴びする以外にお風呂に入ることもスシ susと表現することができます。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

## 1. 湖で白鳥をたくさん私たちは見た。

ヌカル nukar 見る オッタ otta ～で レタッチル retatcir 白鳥  
チ ci= 私たち ト to 湖 ポロンノ poronno たくさん  
( ) ( )( )( )( )( )。

## 2. 明日兄は町で新しい服を買ってくる。

オッタ otta ～で マチャ maciya 町 ワ wa ～して アンミピ anmip 服  
エク ek 来る アシル asir 新しい ホク hok 買う ニサッタ nisatta 明日  
ユポ yupo 兄  
( ) ( )( )( )( )( )( )( )( )。

## キーワードで見るアイヌ民族

チカブ cikap

「鳥」を指す言葉です。カラスでも鶴でもフクロウでも、どんな鳥でもチカブ cikapです。

北海道にはさまざまな鳥がありますが、コタンコルカムイ kotankorkamuy(シマフクロウ)やサロレンカムイ sarorunkamuy(丹頂鶴)などの位の高い神様となっている鳥もありますし、パシクル paskur(カラス)などの鳥もカムイ kamuyですが、位の高い鳥ではありません。

なお、チル cirという言葉もあり、登別の知里幸恵・知里真志保たちの名字の元になっているので有名です。こちらは、合成語で使われる所以、単独で使われることはあります。例えば、チタチル ciptacir(アカゲラ、チタ cipta=舟を彫る)・レタッチル retatcir(白鳥、レタル retar=白い)・トイタチル toytacir(山バト、トイタ toyta=畑仕事)・ルヤンペチル ruyanpecir(アマツバメ、ルヤンペ ruyanpe=雨)・ドレバチル tureptacir(ヤマシギ、ドレバ turepta=ウバユリ掘り)など、鳥の名前で使われています。

アイヌの叙事歌でヤイサマ yaysamaと呼ばれていることがあります。嬉しいこと、悲しいこと、その時その時の気持ちを即興的に言葉にして歌うのです。恋愛もしくは悲恋の歌も多くあります。その中で、チカブ タ クネ cikap ta ku=ne トリ タ クネ tori ta ku=ne(どちらも「鳥になりたい」)という文句がよく出てきます。これは、鳥になって大空を飛んで、野を越え山を越え、愛しい人に会いたいという気持ちを表現した常套句です。トリ toriは日本語起源と思われますが、チカブ cikapと対になってよく使われます。

釧路出身のアイヌ刺繡家、チカップ美恵子さん(1948-2010)のチカップとはまさにこのチカブ cikapです。差別・偏見に負けず、鳥のように自由に羽ばたいて生きたいという思いを込めて、このアイヌ語の名前を自ら名乗ったとのことです。

## 「～で」「～に」の表現—その2

## 例文

1. ヌマン ハポ チセ オッタ イカルカル カネ アン。  
Numan hapo cise otta ikarkar kane an.

昨日母は家で刺繡していた。

2. ユポ アナク ペッ オッタ スシ ワ エク。  
Yupo anak pet otta sus wa ek.

兄は川で水浴びをしてきた。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アナク	anak	副助詞 ～は
アン	an	自動詞 いる(单数)
イカルカル	ikarkar	自動詞 刺繡する
エク	ek	自動詞 来る(单数)
オッタ	otta	位置名詞+後置詞 ～で
カネ	kane	接続助詞 ～しつ
スシ	sus	自動詞 水浴びをする
チセ	cise	名詞 家
ヌマン	numan	副詞 昨日
ハポ	hapo	名詞 母
ペッ	pet	名詞 川
ユポ	yupo	名詞 兄
ワ	wa	接続助詞 ～して

## 今日の学習

## 1. オッタ ottaの用法

レッスン42で勉強した位置名詞オル orと、後置詞タ taの結合した形であるオッタ ottaについて詳しく勉強します。本来は、オル orとタ taは別の語ですが、ほとんど一体のものとして使われることが多く、このテキストではくつけて表記しています。文献によっては、オッタのローマ字をottaでなく、orとtaを離して書き、もとの発音のままor taと書くこともあります。

タ taとオッタ ottaは使われ方が非常に近く、違いが分かりにくいものです。どちらも「～に」「～で」という訳になり、動作の行われる場所や行き先を示すものです。

もしくは、オル orが所属形になり、オロタ orotaという発音になることもあります。

レッスン15と21で触れましたが、場所名詞・位置名詞や、名詞の所属形などのあとには、タ taが通常使われますが、それ以外の普通の名詞の場合は、オッタ ottaを使います。理屈で覚えるよりは、たくさんの実例に触れる中で少しづつ感覚が分かってくるのではないかと思います。

例文1のチセ オッタ cise ottaをチセ タ cise taとは通常言いません。例文2のペッ オッタ pet ottaもペッタ pet taとは言いません。

また、逆に、レッスン42の例文に出てきた、チセ オシケ タ cise oske ta(家の中に)をチセ オシケ オッタ cise oske ottaとは言いません。

地名(固有名詞)の場合は、タ taを使うことが多いようですが、オッタ ottaを使うこともあります。レッスン42の例文1のシラウォイ タ Sirawoi ta(白老で)を、シラウォイ オッタ Sirawoi ottaと言うこともできます。

## 2. イカルカル ikarkar(刺繡する)

カルカル karkar(～に刺繡する)という自動詞に接頭辞イ i-(それ)がついたものです。カルカル karkarは、「～をきれいにする、飾る」という意味になることもあります。

例えばチ・カルカル・ペ ci-karkar-pe(人が・刺繡した・ものは)は、刺繡を施した木綿の着物のことです。浦河や様似、静内地方では特に文様を切り抜いた白い布を縫い付けて刺繡したものを持ちます。これはカパラミピ kaparamipと呼ばれることが多いのですが、着物の名称は地方差があり、地方によって同じ名前で違うものを指します。平取などではアット・attusのような作りの、黒布を縫い付け刺繡を施したものを持ち、道東や千歳では切り伏せではなく、刺繡のみを施した着物を本来指す言葉だとのことです。

## 3. スシ sus

川で水浴びする以外にお風呂に入ることもスシ susと表現することができます。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

## 1. 湖で白鳥をたくさん私たちは見た。

ヌカル nukar 見る オッタ otta ～で レタッチル retatcir 白鳥  
チ ci= 私たち ト to 湖 ポロンノ poronno たくさん  
( ) ( )( )( )( )( )。

## 2. 明日兄は町で新しい服を買ってくる。

オッタ otta ～で マチヤ maciya 町 ワ wa ～して アンミピ anmip 服  
エク ek 来る アシル asir 新しい ホク hok 買う ニサッタ nisatta 明日  
ユポ yupo 兄  
( ) ( )( )( )( )( )( )( )( )( )。

## キーワードで見るアイヌ民族

チカブ cikap

「鳥」を指す言葉です。カラスでも鶴でもフクロウでも、どんな鳥でもチカブ cikapです。

北海道にはさまざまな鳥がありますが、コタンコルカムイ kotankorkamuy(シマフクロウ)やサロルンカムイ sarorunkamuy(丹頂鶴)などの位の高い神様となっている鳥もありますし、パシクル paskur(カラス)などの鳥もカムイ kamuyですが、位の高い鳥ではありません。

なお、チル cirという言葉もあり、登別の知里幸恵・知里真志保たちの名字の元になっているので有名です。こちらは、合成語で使われる所以、単独で使われることはないうえです。例えば、チタチル ciptacir(アカゲラ、チタ cipta=舟を彫る)・レタッチル retatcir(白鳥、レタル retar=白い)・トイタチル toytacir(山バト、トイタ toyta=畑仕事)・ルヤンペチル ruyanpecir(アマツバメ、ルヤンペ ruyanpe=雨)・ドレバチル tureptacir(ヤマシギ、ドレバ turepta=ウバユリ掘り)など、鳥の名前で使われています。

アイヌの叙事歌でヤイサマ yaysamaと呼ばれていることがあります。嬉しいこと、悲しいこと、その時その時の気持ちを即興的に言葉にして歌うのです。恋愛もしくは恋愛の歌も多くあります。その中で、チカブ タ クネ cikap ta ku=ne トリ タ クネ tori ta ku=ne(どちらも「鳥になりたい」)という文句がよく出てきます。これは、鳥になって大空を飛んで、野を越え山を越え、愛しい人に会いたいという気持ちを表現した常套句です。トリ toriは日本語起源と思われますが、チカブ cikapと対になってよく使われます。

釧路出身のアイヌ刺繡家、チカップ美恵子さん(1948-2010)のチカップとはまさにこのチカブ cikapです。差別・偏見に負けず、鳥のように自由に羽ばたいて生きたいという思いを込めて、このアイヌ語の名前を自ら名乗ったとのことです。

## 「～から」の表現

## 例 文

1. ウナルペ サラリフ オシケ ワ ヤム シネブ ウク ワ エンコレ。  
Unarpe sararip oske wa yam sinep uk wa en=kore.

おばさんは編み袋の中から栗を一つ手に取り私にくれた。

2. テエタ シサムコタン オルワ ニカブ パクノ 義経 エク ハカイエ

Teeta Sisamkotan orwa Nikap pakno Yositune ek hakaye.

昔、本州から義経が新冠まで来たそうだ。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
ウク	uk	他動詞 ～を手に取る(単数)
ウナルペ	unarpe	名詞 おばさん
エク	ek	自動詞 来る(単数)
エン	en=	人称接辞 私に、私を
オシケ	oske	位置名詞 中
オルワ	orwa	位置名詞+後置詞 ～から
コレ	kore	複他動詞 ～を～にあげる、与える
サラリフ	sararip	名詞 編み袋、小出し
シサムコタン	Sisamkotan	固有名詞 本州、和人の国
シネブ	sinep	名詞 1つ
テエタ	teeta	副詞 昔
ニカブ	Nikap	固有名詞 新冠
パクノ	pakno	後置副詞 ～まで
ハカイエ	hakaye	助動詞 ～そうだ
ヤム	yam	名詞 栗の実
義経	Yositune	固有名詞 (源)義経
ワ	wa	後置詞 ～から

## 今日の学習

## 1. 起点を示すワ wa・オルワ orwa

日本語にすると「～から」という訳になりますが、動作の始まる場所、出発点を示す言葉です。位置名詞のオル or のついたオルワ orwa、またはオル or の所属形オロ oroと結合したオロワ orowaという形もよく出てきます。この違いは、レッスン42・43で習った、タ ta／オッタ ottaと同じです。意味は同じで、ワ wano・オルワ orwanoという言い方もあります。

## 2. サラリフ sararipについて

サラニフ saranipと発音する地方も多く、そう書いてある出版物が多いようですが、浦河・様似では、サラリフ sararipという発音が多かったようです。

オヒヨウやシナノキの内皮で作った糸を編んで作る編み袋です。ポシェットもしくはバッグのようないいもので、「小出し(こだし、こんだし)」という日本語で呼ばれることもあります。バッグのようにならぬものが、特に山で山菜採りをするとか、そういう時に持つて行き、山菜やキノコ、木の



実など、収穫物を入れて持ち運びます。

## 3. シサムコタン Sisamkotan(本州、和人の国)について

シサムモシリ Sisammosir(和人の国、島)とも呼びます。またサモルモシリ Samormosirという言い方もあります。サモル samorとは、サム・オル sam-or=隣り・ところ、と分解できます。

## 4. 新冠について

日高地方中部にある町の名前です。新ひだか町と日高町門別の中間にあります。現在は馬産地として有名なところですが、こちらにも各地にアイヌの集落があり、アイヌ民族が多数暮らしていました。

「新冠」は、ニカブ Nikapがもとであると言われています。ニカブ Nikapとは、「木の皮」のことで、カブ kapが「皮」の意味です。木の皮とは、アッテシ attus(樹皮衣)を作るための樹皮のことだと言われています。

新冠には「判官館」と言われる岩山があります。もとはポロヌプリ Poronupuri(大いなる山)と呼ばれ、黒狐の神が住む、お神酒を捧げる大事な山だったそうです。

「判官」とは、源義経のことです。兄・源頼朝に追われた義経が実は平泉で死なず、北海道に渡ってきて、ここに砦を築いたという話が伝わっています。義経の伝説はアイヌにも和人にも各地に残されています。ただし、アイヌ側の伝説では、アイヌをだまして宝を盗んでいったとかあまりいい話は残っていません。

この判官館のあたりに会所が作られたそうですが、そのあたりをもともとピポク Pipok(語源不明)と呼んだとのことです。江戸時代にニカブ Nikapに改名されたとのことです。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

## 1. 湖からマリモを持って来てはいけません!

エク ek 来る オルワ orwa ～から イテツケ itekke ～するな コル kor 持つ  
ト to 湖 ワ wa ～して トラサンペ torasampe マリモ  
( )( )( )( )( )( )( )( )( ) !

## 2. 木の上から私は落ちて足がとても痛い。

チキリ cikiri 足 ワ wa ～して カ ka 上 ニ ni 木 ハチル hacir 落ちる  
アルカ arka 痛い ク ku= 私 ワ wa ～から ソンノ sonno とても  
( )( )( )( )( )( )( )( )( )( )( ) 。

## 「キーワードで見るアイヌ民族」ニ ni

「木」を指す最も一般的な言葉です。アイヌ民族にとって、立ち木はシルコルカムイ sirkorkamuy=シル・コル・カムイ sir-kor-kamuy=大地・司る・神と呼びました。例えば、舟を造るため木を倒す時にお酒やお供えを捧げて儀式を行ったと言います。

例えば栗の木をヤムニ yamniと言いますが、ヤム yamとは、栗の実のことです。ヤム yamがとれる木なのでヤムニ yamniと言うのです。

また、キハダの木は、シケルペニ sikerpeniと言います。シケルペ sikerpeとは、キハダの実のことです。シケルペ sikerpeはアイヌ料理に香辛料のようによく使われるものです。それがなる木だからシケルペニ sikerpeniなのです。

昔の人にとって、木は食べ物を与えてくれる存在であり、衣服になったり、道具になったり、舟になったりするありがたい存在でした。また、昔は石油もガスもなく、木が燃料です。木なくては生きることはできません。

ニ ni の含まれる地名が各地にあります。たとえば浦河町荻伏はもともとオニウシ Oniusi、オニウシ o-ni-us-i=河口に木生えているところ、が語源であると言われます。渡島地方の森町ももとは、オニウシ Oniusiと呼ばれていた地名を和訳したものだと言われています。

浦河町内に仁王別という川があります。これはニオベッ Niopetがもとのアイヌ語で、ニ・オ・ベッ ni-o-pet=木ある川、となります。

また、平取町内にニオイ Nioi(荷負)という地名があります。ニ・オ・イ ni-o-iとは、木あるところ、となっています。この場合のニ niとは、流木を指していると言われています。

# 「～へ」の表現

## 例 文

1. オヤシム オタルナイ エン ヘンネ パイエアン。

Oyasim Otarunay en henne paye=an. あさって小樽へ私たちは行かない。

2. ケラアンペ クホク ワ ヘカッタル オレン クオマンテ ルスイ。

Keraanpe ku=hok wa hekattar oren ku=omante rusuy.

お菓子を私は買って子供たちに送りたい。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アン	=an	人称接辞 私たち
エン	en	後置詞 ～に、～へ
オタルナイ	Otarunay	固有名詞 小樽
オマンテ	omante	他動詞 ～を送る
オヤシム	oyasim	副詞 あさって
オレン	oren	位置名詞+後置詞 ～に、～へ
ク	ku=	人称接辞 私
ケラアンペ	keraanpe	名詞 お菓子
パイエ	paye	自動詞 行く(複数)
ヘカッタル	hekattar	名詞 子供たち
ヘンネ	henne	副詞 ～しない
ホク	hok	他動詞 ～を買う
ルスイ	rusuy	助動詞 ～したい

## 今日の学習

### 1. 動作の方向を表すエン en

これまでのレッスンにすでに出てきた後置詞エン enの使い方について詳しく勉強します。タ ta・ワ wa同様、位置名詞オル orと結合して、オレン orenとなることも多いです。オル orのついた形との違いはタ ta・ワ waと同じです。

この言葉は、動作・移動の方向を表すもので、日本語にすると「～へ」「～に」となり、タ taに近いですが、「～にいる」「～で働く」のように、動作の場所については使いません。「～に対して」という訳になることもあります。

エン enは、浦河地方をはじめ、様似・三石・静内など日高中部から東部、十勝地方で使われます。日高西部・胆振・渡島などではウン unが使われます。その他石狩ではエコタ ekotaなども使われます。

日本語では「明日小樽、行かないよ」というように、「に」を省略したりしますが、アイヌ語ではタ ta同様、省略できないことにご注意ください。

### 2. 小樽について

後志地方にある港町です。運河や古い町並みで知られています。江戸時代の記録では、「おたるない」というような書き方をされており、オタ・ル・ナイ ota-ru-nay=砂・道・沢、が語源と推測されます。「おたない」=オタナイOtanayと書いてある文献もあります。

もともと小樽にもアイヌ民族が暮らしていました。アイヌ民族の土地問題に取り組んだ指導者として有名な

天川恵三郎(1864–1934)はこの出身です。

### 3. ケラアンペ keraanpe(お菓子)について

分解すると、ケラアン・ペ keraan-pe=おいしい・もの、となります。昔、甘いお菓子はなかなか手に入らない、珍しいものだったそうで、こういう言い方をしたと思われます。

ほかの地方ではトペンペ topenpe・もしくはルルコルペ rurkorpe(どちらも「甘いもの」の意味)と言ったり、日本語起源のクワシ kuwas・ウマイ umayという言い方もします。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

### 1. この話を父と母に私は言うことができない。

イエ ye 言う	ネワ newa ～と	オレン oren ～に
オルシペ oruspe 話	ハポ hapo 母	エアイカブ eaykap できない
タン tan この	ク ku= 私	ハチャ haca 父
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

### 2. 昨日から雪がひどいが、あんたは明日家に帰るのか？

ニサッタ nisatta 明日	ユプケ yupke ひどい	ワノ wano ～から
チセ cise 家	ヤ ya ～か	ヌマン numan 昨日
エ e= あんた	コルカ korka ～が	ホシビ hosipi 帰る
オレン oren ～に	ウパシ upas 雪	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

## キーワードで見るアイヌ民族

### ワッカ wakka

「水」の意味のアイヌ語です。稚内など、地名にもよく使われます。水は、人間が生きる上で大事なものです。昔は水道がないので井戸の水や湧き水、川の水などが生活用水でした。子供が川におしつこなどしようものなら、ひどく怒られたといいます。

水の神をワッカウシカムイ Wakkauskamuy(水に住む神)と言います。ウシ usとは、「～にある」「～にいる」という意味の動詞です。カムイノミ kamuynomi(神に祈る儀式)の時には、まず必ずワッカウシカムイ Wakkauskamuyにも祈り言葉とお神酒とイナウをあげます。

稚内については、もともとヤムワッカナイ Yamwakkanayというのが元の名前だったと言われています。ヤム yamは「冷たい」、ナイ nayは「沢」の意味です。ヤムワッカナイ Yamwakkanayの村のあたりは海が近く、地面を掘っても塩水しか出てこないですが、小山から湧き出た水が沢になっていて、その沢の水だけが唯一飲める水だそうです。

浦河町内ではどうも見当たりませんが、北海道各地にワッカ wakkaにちなんだ地名があります。様似町には、ヤマッカ Yamakkaと呼ばれる湧き水があります。これももともとはヤムワッカ yamwakkaです。えりも町には、「ヤマカの水」と言われる湧き水があり、このヤマカももとはヤムワッカ yamwakkaだと思われます。十勝地方の幕別町にも止若という地名があります。

新冠町には滑若という地名がありますが、もともとはナムワッカ namwakkaで、ナム namはこの地方でヤム yam同様「冷たい」という意味です。

さらに、知床半島にカムイワッカ Kamuywakkaという滝および川がありますが、こちらは酸性の強い温泉で人間の飲める水ではないそうです。人間ではなく神の飲む水という意味でこの名前がついているようです。

人間の体の約60%は水でできていると言われています。やはり水は人間の命にとって大事なものなのです。

## 受身のアン an=

## 例文

1. タン コタン オッタ チーズ アンカル。  
Tan kotan otta CHEESE an=kar.

この町ではチーズが作られている。

2. ポン マッカチ ユポ オルワ アンキク。  
Pon makkaci yupo orwa an=kik.

小さな女の子が兄に叩かれた。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アン	an=	人称接辞
オッタ	otta	位置名詞+後置詞
オルワ	orwa	位置名詞+後置詞
カル	kar	他動詞
キクキク	kikkik	他動詞
コタン	kotan	名詞
タン	tan	連体詞
チーズ	CHEESE	名詞 チーズ(外来語)
ポン	pon	自動詞
マッカチ	makkaci	名詞
ユポ	yupo	名詞 兄

## 今日の学習

## 1. 受身の表現

このレッスンでは受身の表現を习います。受身は人称接辞アン an=を動詞につけます。これは、今まで習つた、「(聞き手を含めた)私たち」(1人称複数包括形)・「あなた(2人称敬称)」・「人が(4人称不定用法)」と同じ形です。

「～によって○○された」という時は、～オルワ orwaを使います。

この受身の表現は「人が」という言い方(4人称不定用法)と区別があいまいである場合もあります。例文1は、「この町ではチーズを作っている」と訳すことも可能です。

しかし、例文2の場合はオルワ orwaがついているので明らかに受身です。

## 2. コタン kotanについて

この言葉は、「村」「集落」と訳されることが多いですが、レッスン30のキーワードで触れましたように、もっと大きな範囲を指すこともあり、場合によっては「町」「国」「場所」という訳になることもあります。

現在の「浦河町」「苦小牧市」のような大きな範囲をコタン kotanと呼ぶことも可能です。

## 練習

以下の日本語の文章の意味になるように、アイヌ語を並び替えて言ってみましょう

## 1. チョコレートは力カオから作られる。

カル kar	作る	力カオ CACAO (外来語)	オルワ orwa	～から
アナク anak	～は	チョコレート CHOCOLATE (外来語)	アン an=	～される

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )。

## 2. 男の子がいたずらしておばあさんに怒られた。

コイルシカ koiruska	～に怒る	ヘカチ hekaci	男の子	ワ wa	～して
オルワ orwa	～に	フチ huci	おばあさん	アン an=	～される
イララ irara	いたずらする				

( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )。

## MEMO

## キーワードで見るアイヌ民族 ウポポ upopo

「歌」を意味する言葉です。アイヌ民族の歌はいろいろありますが、特に祭り・儀式の場などで、女性たちが中心になって歌う歌のことです。「祭り歌」と訳されることもあります。

ただ、歌だけ歌う場合と、それに合わせて踊ることもあります。地方によっては、特に「座り歌」を意味する言葉です。女性たちが車座になって座り、シントコ sintoko(行器、漆塗りの入れ物)のふたを叩きながら歌います。しかし、浦河地方では、特にそういう限られた意味はありません。

通常、ウポポ upopoは、短い歌詞とメロディを繰り返す短いものが多いです。例えば、こういったものがあります。

チユッカ ウ カムイ ラン / イワ テクサム オレウ  
cupka wa kamuy ran / iwa teksam orew  
東 から 神 降りる / 岩山 手前 にとまる  
イワ テクサム カニ マウ ネ チヌ  
iwa teksam kani maw ne cinu  
岩山 手前 美しい 風 になって 聞こえる

これは、神様が東の空(もしくは月)から降りてくる様子を歌っていると言われています。似た歌が全道各地に伝わっています。

浦河地方にも、さまざまな歌が伝わっています。イフンケ ihunke(子守唄)も歌の一種ですが、ウポポ upopoとはまた別です。その他、ヤイサマ yaysamaという歌もあります。ヤイサマネナ yaysamanena(ヤイサマだよ)という文句を挟みながら、自分の気持ちを即興的に言葉にして節をつけて歌うものです。日常の悲喜こもごもを歌うもので、恋愛を歌ったものも数多くあります。日本語で「叙事歌」もしくは「即興歌」と呼ばれます。節をつけて歌う歌全般をシノッチャ sinotcaと呼ぶこともあります。

## 会話1 久しぶり

## 本文

これまで、文法項目を中心にいろいろ勉強してきました。このレッスンからは、会話の形でアイヌ語が実際にどう使われるのかを勉強します。

今回は、テルケ Terkeとモイレ Moyreという名前の二人の女性が久しぶりに会った時の会話の形です。二人は友人同士です。

**テルケ:** イカタイ。 イワンケ ノ エアン?  
Ikatay. Iwanke no e=an?

お久しぶり。元気でいた？

**モイレ:** エー。 イワンケ ノ クアン。  
E. Iwanke no ku=an.

うん。元気だよ。

**テルケ:** エイペ ハ?  
E=ipe ha?

ご飯食べた？

**モイレ:** ナア、 ヘンネ。 クイペルスイ ナ。  
Naa, henne. Ku=iperusuy na.

まだだよ。お腹すいたな。

**テルケ:** ネブ カ アネ!  
Nep ka an=e!

何か食べよう！

**モイレ:** ウドラ イペアン ノー。  
Utura ipe=an no.

一緒にご飯食べよう。

**テルケ:** ネコン アン ペ エエ ルスイ?  
Nekon an pe e=e rusuy?

どんなもの食べたい？

**モイレ:** ピザ ヘネ ハンバーグ ヘネ クエ ルスイ。 ピザかハンバーグでも食べたいな。  
PIZZA hene HAMBURG hene ku=e rusuy. Pizza ka HAMBURG de mo eba taina na.

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アネ	an=e	人称接辞+他動詞 私たちは～を食べる =アンエ
アン	an	自動詞 いる(単数形)
イカタイ	ikatay	間投詞 お久しぶり
イペ	ipe	自動詞 食事する
イペルスイ	iperusuy	自動詞 空腹である
イワンケノ	iwankeno	副詞 元気に
ウドラ	utura	副詞 一緒に
エ	e=	人称接辞 あんた
エ	e	他動詞 ～を食べる
エー	e	間投詞 うん
カ	ka	副助詞 ～か
ク	ku=	人称接辞 私
ナ	na	終助詞 ～よ
ナア	naa	副詞 まだ
ネブ	nep	名詞 何
ネコン	nekon	副詞 どのように
ノー	no	終助詞 ～しよう
ハ	ha	助動詞 ～した
ハンバーグ	HAMBURG	名詞 ハンバーグ(外来語)

アイヌ語	品詞	日本語訳
ピザ	PIZZA	名詞 ピザ(外来語)
ペ	pe	形式名詞 もの
ヘネ	hene	副助詞 ～でも
ヘンネ	henne	副詞 ～しない
ルスイ	rusuy	助動詞 ～したい

## 今日の学習

今回の会話は、大部分これまで勉強した基本的表現の復習的な内容です。

## 1. 日本語訳について

これまでレッスンのアイヌ語の文章の日本語訳には「私が～する」「あんたが～する」のように、はつきり主語を明記した形にしたものが多くありました。それはもとのアイヌ語の文章では「誰が」とするのか、人称接辞で明示するので、そのことを日本語訳ではつきり示すためです。しかし、そういう日本語は若干不自然です。そこで、このレッスン以降の日本語訳では、わざわざ「私が」「あんたが」という主語を明示せず、「元気でいた?」「元気だよ」のような訳にしてあるのでご注意ください。

## 2. 「～しよう」の表現

ネブ カ アネ! Nep ka an=e! (何か食べよう!) は、相手に対して誘いかけている表現です。レッスン37で勉強しましたように、文章の終わりに終助詞ノー noをつけることが多いですが、これがなくても呼びかけの意味になることがあります。ナ naを使うこともあります。

## 3. ヘネ heneの用法

「～でも」と訳される言葉ですが、○○ヘネhene ○○ヘネheneという形で、選択肢を並列して「○○か○○か」みたいな意味で使われることがあります。タント ヘネ ニサッタ ヘネ クオマン。 Tanto hene nisatta hene ku=oaman. というと、「今日でも明日でも私は行く」ということになりますが、要するに「今日か明日私は行く」という意味です。

## 4. テルケ Terkeとモイレ Moyreについて

テルケ terkeは「跳ねる」、モイレ moyreとは「ゆっくり」「遅い」という意味です。ここでは二人の登場人物の名前をアイヌ語にしてありますが、伝統的な命名ではありません。

現代日本におけるアイヌ民族は、日本国民として姓名を持ち、その大部分は、「綾香」「直樹」のような日本語の名前ですが、中には、和名と別にアイヌ名を持つ人、子供にアイヌ語で名前を付ける人もいます。

## アイヌイタクAynuitakの世界

## アイヌ語の今

今回から、タイトルを改めて、アイヌ語にまつわるさまざまなトピックについて触れてアイヌ語への理解を深めたいと思います。よく「アイヌ語を話せる人はどれくらいいるんでしょうか?」という質問を受けます。かつてアイヌ語を使って生活していた人たち(母語話者)の世代は、もうかなりの方が高齢で流暢に話せる方は極めて少ないと言われています。しかし、アイヌ民族への差別・偏見がいまだ解消されていない現実があり、アイヌ語を話せる人がいたとしても、その人が名乗り出でない可能性もあり、研究者や関係者が存在を知らないだけかもしれません。実際のところ、母語として話せる人がどれだけいるのかはつきりしたことは分かりません。

その一方で、1980年代以降、各地でアイヌ語教室が開かれ、たくさんの方がアイヌ語を勉強してきました。ある人は古老に習いに行ったり、ある人はアイヌ語教室で学び、ある人はテープや本で独学し、アイヌ語をかなりの程度身につけた人たちも少しづつ出てきています。毎年アイヌ語弁論大会が開かれ、多くの人が参加して実力を競っています。アイヌ語を学ぶ人たちは北海道だけでなく、道外にもたくさんいます。東京では関東在住のアイヌ民族を対象にしたアイヌ語講座が定期的に開催されていますし、一般市民によるアイヌ語学習サークルも長年活動しています。

長年の活動の結果、中には流暢にアイヌ語だけで会話をしたり、神への祈り言葉を唱えたりするだけの実力を身につけた人もいます。友達同士で会話をしたり、家で使っている人もいますし、最近はアイヌ語でメールを書いたり、インターネットでアイヌ語で日記やつぶやきを書く人もいます。そういう人たちも現在のアイヌ語の「話者」ということになると思います。

アイヌ語は形を変えつつも、命をつなぎ、新しい時代を迎えつつあります。あなたもアイヌ語を学ぶことで「アイヌ語の世界」の仲間入りすることになるのです。

## 会話2 店を探して

## 本文

一緒に食事することになったテルケ Terkeとモイレ Moyreが町を歩きながらどこでご飯を食べるか相談しています。

**テルケ:タパン レストラン ピルカ ハカイエ。ネコン ネ?** このレストランおいしいんだって。どう?

**モイレ:テエタ クエク アムキル。ケラアン コルカ アタイコル。** 昔、来たことあるわ。おいしいけど高いよ。

**テルケ:ソンノ? ヘンネ アフパン。タント イチエン クサク。** 本当? やめようよ。今日、お金ないんだ。

**モイレ: クアニ ウサ クサク。** 私もないとよ。

**テルケ: トアンペ オッタ クイペ アムキル。アタイサク ワ ケラアン。** あそこでご飯食べたことがあるよ。安くておいしかったよ。

**モイレ: ピルカ。アフパン ノー。** いいね。入ろうよ。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アタイコル	ataykor	自動詞 高い
アタイサク	ataysak	自動詞 安い
アフパン	ahup=an	自動詞+人称接辞 私たちがいる =アフパン
アムキル	amkir	助動詞 ~したことある
イチエン	icen	名詞 お金
イペ	ipe	自動詞 食事する
ウサ	usa	副助詞 ~も
エク	ek	自動詞 来る(单数)
オッタ	otta	位置名詞+後置詞 ~で
ク	ku=	人称接辞 私
クアニ	kuani	人称代名詞 私
ケラアン	keraan	自動詞 おいしい
コルカ	korka	接続助詞 ~けど
サク	sak	他動詞 ~を持ってない
ソンノ	sonno	副詞 本当に
タパン	tapan	連体詞 この
タント	tanto	副詞 今日
テエタ	teeta	副詞 昔
トアンペ	toanpe	指示代名詞 あれ
ネ	ne	副動詞 ~だ
ネコン	nekon	副詞(疑問詞) どのように
ノー	no	終助詞 ~しよう

アイヌ語	品詞	日本語訳
ハカイエ	hakaye	助動詞 ~するそうだ
ヘンネ	henne	副詞 ~しない
ピルカ	pirka	自動詞 よい
レストラン	RESTAURANT	名詞 レストラン(外来語)
ワ	wa	接続助詞 ~して

## 今日の学習

1. **アムキル amkir**について  
本来は「～を知っている」という意味の他動詞ですが、動詞の後ろにつけて「～したことがある」という意味の助動詞として使われることがあります。
2. **ヘンネ ahup=an**について  
直訳では「私たちは入らない」という意味になりますが、訳は「やめよう」となっています。「～を中断する」という意味で「やめる」という言い方もありますが、この場合は中断でなく、店に入ることを取り消すことです。こういう時は単に「～しない」という言い方になるのが普通のようです。
3. **イチエン icen**について  
「お金」を指すアイヌ語です。日本語の「銭」から来たのではないかと言われています。イコル ikor(本来は「宝物」の意味)という言葉を「お金」の意味で使う地方もありますが、浦河ではイチエン icenが普通だったようです。
4. **ウサ usa**について  
「～も」という意味でよく使われる言葉です。ほかの地方ではカ kaを使うところも多いです。アナッ anakなどと同じように、その後ろの動詞の人称接辞は省略できません。クアニ ウサ サク kuani usa sakは間違います。
5. **サク sak**について  
レッスン20でも習いましたように、「～を持ってない」という意味の他動詞です。日本語では、持ってなくて手元にない場合、単に「ない」という言い方になりますが、アイヌ語では「持っていない」という意味のこの言葉を使うことが多いことにご注意ください。

## アイヌイタク Aynuitak の世界

## アイヌ語の地方差

アイヌ語に地方差(方言)があることはみなさんもご存知かと思います。このテキストは、講師のふるさとである浦河町のアイヌ語をベースにしています。

北海道は広いので地域ごとに言葉が違います。日高地方でも、大まかに分けると東部と西部とでかなり違います。東部は、静内・三石・浦河・様似あたりまではかなり似ていて、十勝や釧路地方(釧路市や白糠、鶴居、阿寒など)ともかなり言葉が似ています。

日高西部については、沙流(平取町および日高町)方言が記録も多いですが、沙流方言は鶴川・穂別・千歳などと非常に似ていることが知られています。

日高東部から道東のアイヌは、メナシクル Menasunkur(東の人)と言われ、言葉や風習の共通点が多いようです。一方、静内あたりから西の人はスムンクル Sumunkurと呼ばれます。

たとえば浦河をはじめ多くの地方では子守唄のことをイフンケ ihunkeと呼びますが、平取に行くと「人を唄う」という恐ろしい意味になってしまいます。

浦河に伝わるこんな逸話があります。昔、浦河から平取にお嫁に行った女性がいました。その女性が、姑さんに「お前、山に行って、カイクマ kaykumaをとってくれ」と言われました。カイクマ kaykumaとは浦河のアイヌ語で「ウサギ」のことです。そこで、その女性は、山に行って、一生懸命カイクマ kaykumaを探して何とかつかまえて家に帰りました。しかし、その姑さんがびっくりして、「お前、なんでそんなもの持つて来るんだ?」と言ったとのことです。というのも、平取ではカイクマ kaykumaとは、たき木や柴の意味で、ウサギはイセポ isepoと言います。姑さんは囲炉裏で燃やすたき木が欲しかったのですが、話が通じなかったわけです。

アイヌ語に地方差があるといつても、北海道内ならばまったく通じないほど違うわけではありません。

アイヌ語には共通語もしくは標準語のようなものはありませんし、今のところ作る話はありません。自分のふるさとの言葉、それぞれの方言を大事にしたい考えの人も多く、それぞれの地方のアイヌ語をそれぞれの地域で学んでいます。

## 会話3 レストランにて

## 本文

レストランに入った二人が食事しながらおしゃべりをしています。

テルケ:ニサッタ ネプ エカル?

Nisatta nep e=kar?

明日、何やってるの?

モイレ:チセ オッタ クアン クニ クラム。 シッチャシヌカ ヘネ クキ。 家にいると思う。  
Cise otta ku=an kuni ku=ramu. Sitcasnuka hene ku=ki. 掃除でもするかな。

テルケ:ニサッタ トキヨ オルワ クコル アチャポ エク。 明日東京からおじさんが来るの。  
Nisatta Tokiyo orwa ku=kor acapo ek.

アチャポ クエカンホク クス シコツ エン クオマン。  
Acapo ku=ekanhok kusu Sikot en ku=oaman.

おじさんを迎えて  
千歳に行くんだ。

モイレ: エコル アチャポ エク ルウェ? クヌカン ルスイ。  
E=kor acapo ek ruwe? Ku=nukar rusuy.

おじさん来るんだ?  
会いたいな。

テルケ: ウドラ パイエアン ノー。 ピルカ ヤ?  
Utura paye=an no. Pirka ya?

一緒に行こうよ。  
いいでしょ?

モイレ: ピルカ。 クヌチャクテク。  
Pirka. Ku=nucaktek.

いいよ。うれしいな。

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アチャポ	acapo	名詞 おじさん
アン	an	自動詞 いる(単数形)
アン	=an	人称接辞 私たち(自動詞)
ウドラ	utura	副詞 一緒に
エ	e=	人称接辞 あんた
エク	ek	自動詞 来る(単数形)
エカンホク	ekanhok	他動詞 ~を出迎える
エン	en	後置詞 ~に
オルワ	orwa	位置名詞+後置詞 ~から
オッタ	otta	位置名詞+後置詞 ~で
オマン	oman	自動詞 行く(単数形)
カル	kar	他動詞 ~をする
キ	ki	他動詞 ~をする
ク	ku=	人称接辞 私
クス	kusu	接続助詞 ~するために
クニ	kuni	形式名詞 ~ということ
コル	kor	他動詞 ~を持つ
シコツ	Sikot	有名詞 千歳
シッチャシヌカ	sitcasnuka	自動詞 掃除する
チセ	cise	名詞 家
トキヨ	Tokiyo	固有名詞 東京
ニサッタ	nisatta	副詞 明日

アイヌ語	品詞	日本語訳
ヌカン	nukar	他動詞 ~に会う =ヌカル
ヌチャクテク	nucaktek	自動詞 うれしい
ネブ	nep	名詞(疑問詞) 何
ノー	no	終助詞 ~しよう
パイエ	paye	自動詞 行く(複数形)
ピルカ	pirka	自動詞 よい
ヘネ	hene	副助詞 ~でも
ヤ	ya	終助詞 ~か
ラム	ramu	他動詞 ~を思う
ルウェ	ruwe	形式名詞 ~か?
ルスイ	rusuy	助動詞 ~したい

## 今日の学習

## 1. カル karの用法

通常「作る」と訳される言葉ですが、「する」という意味になることもあります。特に「何をするの?」というように質問する場合、ネブ nep(何)とセットで使われることが多いです。

## 2. クニ ラム kuni ramuについて

直訳は「~こと を思う」ということになりますが、よく使われる言い方です。

## 3. 接続助詞クス kusuについて

「~するために○○する」という形で目的を説明するために2つの文章をつなぐ役割を持っていて、よく使われます。「~なので」と理由を説明する時にも使われます。レッスン17や23にあるようにクシ kusという発音になることもあります。

## 4. スカル nukarについて

「~を見る」という意味ですが、人間について使う時は「~に会う」という訳になることがあります。

## 5. 形式名詞ルウェ ruweについて

レッスン23で習った文末詞ルウェ ruweは、文末につけると「~なの?」みたいに聞き返したり、確認する時にも使います。

## 6. スチャクテク nucaktekについて

「うれしい」という意味ですが、地域によって「楽しい」「気分が明るい」というような訳になり、少し意味が違うようです。地域によってヤイコプンテク yaykopuntek・ヤイレンカ yayrenkaなどの言い方もあります。

## アイヌイタクAynuitakの世界

## アイヌ語と文字

アイヌ語は現在カタカナとローマ字を使って表記されます。

「アイヌ語は文字がない」と言う人もいますが、近代以降は文字で書かれるようになっているので、現在は文字が「ある」ということになり、かつて文字が「なかった」ということになります。

今、アイヌ語関連の出版物の多くは、カタカナとローマ字の併記となっています。このテキストもそうなっています。若い世代はローマ字に抵抗がないでしょうが、ローマ字だとどうも難しくて敬遠してしまう人もいます。そこで最近の出版物は両方併記しているものが多いのが現状です。

ローマ字表記はアイヌ語の発音の仕組みや語構成を理解するのに便利です。知里幸恵・金成マツらの書き残したアイヌ語の記録はローマ字で書かれていますし、研究者の書いた著作はローマ字だけのものも多いので、これらの文献を読むためにも、ローマ字が読めた方が役立ちます。

アイヌ語の表記は、大まかに分けるとカタカナとローマ字の2種類があり、それぞれに細かい部分で変種があります。たとえばカナの表記は、細かい部分で研究者や出版物によって違いがあります。例えばこのテキストではpirkaをピルカと書きますが、ピルカと表記している出版物も多くあります。tuをこのテキストでは「ト°」と書きますが、「トゥ」と表記する本も多くあります。

しかし、多少の違いがあつても基本的な知識があれば何が書かれているのか分かるので、大きな問題はないと思います。このテキストでアイヌ語を学んでいる皆さんも、多少の違いは気にする必要はありませんが、出版物によって書き方の違いが若干あることはご承知ください。

あと大事なのは文字だけを見て勉強するのではなく、実際の音を聞いて正しい発音を身に着けることなので、文字にこだわらずアイヌ語の音をたくさん聞いてください。

## 会話4 空港にて

## 本文

テルケ:シコキ モイレ ハカイエ。  
Sikoki moyre hakaye.

飛行機遅れてるんだってね。

モイレ:エコル アチャポ、オホンノ ヘンネ クヌカル。  
E=kor acapo ohonno henne ku=nukar.

おじさんにはずっと会ってないわ。

テルケ:ア! アチャポ エク ナ。  
A! Acapo ek na.

ああ。おじさんが来たよ。

モイレ:アチャポ、イカタイ。イワンケノ オカヤン?  
Acapo, ikatay. Iwankeno okay=an?

おじさん、お久しぶりです。  
お元気でした?

アチャポ:クイワンケ。エチアルキ ワ イヤイライケレ。  
Ku=iwanke. Eci=arki wa iyayraykere.

元気だよ。  
お前たち来てくれてありがとう。

テルケ:アチャポ、イモカ アンコル ワ アルキアン ルウェ?  
Acapo, imoka an=kor wa arki=an ruwe?

おじさん、おみやげ持つて来て  
くれたかしら?

アチャポ:ヘンネ クオイラ ノ クコル ワ クエク。  
Henne ku=oyra no ku=kor wa ku=ek.

忘れずに持つて來たよ。

モイレ:フンナ、フンナ!  
Hunna, hunna!

ありがとう!

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
ア	a	間投詞
アルキ	arki	自動詞
アチャポ	acapo	名詞
アン	an	自動詞
アン	an=	人称接辞
アン	=an	人称接辞
イカタイ	ikatay	間投詞
イモカ	imoka	名詞
イヤイライケレ	iyayraykere	間投詞
イワンケ	iwanke	自動詞
イワンケノ	iwankeno	副詞
エク	ek	自動詞
エチ	eci=	人称接辞
オイラ	oyra	他動詞
オカイ	okay	自動詞
オホンノ	ohonno	副詞
ク	ku=	人称接辞
コル	kor	他動詞
シコキ	sikoki	名詞
ヌカル	nukar	他動詞

アイヌ語	品詞	日本語訳
ノ	no	接続助詞
ハカイエ	hakaye	助動詞
フンナ	hunna	間投詞
ヘンネ	henne	副詞
モイレ	moyer	自動詞
ルウェ	ruwe	形式名詞
ワ	wa	接続助詞

## 今日の学習

## 1. シコキ sikoki(飛行機)について

これは日本語が起源ですが、浦河ではなく、帶広でこういう言い方をしていたことが記録で残っています。日本語の「飛行機」という言い方をしてもいいですが、このレッスンではアイヌ語にかつて取り入れられて使われていた形を使っています。

## 2. 敬語の表現について

年上のおじさんに対してなので敬称の言い方を使っています。対等もしくは目下の関係の場合はイワンケノエアン? Iwanke no e=an?という言い方になります。

## 3. 接続助詞ノ noについて

「～しないで〇〇する」などと、否定の文章と次の文章をつなぐ時に使います。

## 4. フンナ hunnaについて

物をもらったり人にご馳走してもらう時に感謝する言葉です。ヒンナ hinnaという発音になることもありますし、この挨拶を使わない地方もあります。その他、ヒオイオイ Hioy' oyやハブ hapという言い方をする地方もあります。感謝を表現する言葉としては、イヤイライケレ iyayraykereがもっとも一般的で丁寧な言い方のようです。

## アイヌイタク Aynuitak の世界

## アイヌ語と現代社会

もしかしたら、このテキストの例文に「ピザ」とか「チョコレート」というような表現が出てきたことを不思議に思った人もいるかもしれません。もちろん、ピザやチョコレートのアイヌ語はありません。これらはもともとアイヌ社会になかったものなので、当然アイヌ語での言い方はないのです。日本語でももちろんないので、外国語を取り入れて使っているわけです。

現在、さまざまな形でアイヌ語を復興する試みが行われています。その中で一つの課題は、現代社会で必要な事物をどのようにアイヌ語で表現するかです。

例えば「携帯で写真を撮ってメールする」という文章をアイヌ語に訳すとなるとこれは一つの問題です。「携帯(電話)」「写真」「メール」に相当するアイヌ語は存在しません。

一つは、日本語なり外国語をそのまま使う方法です。日本語にもピザやチョコレートという外来語がたくさん使われているように、アイヌ語にもともとない言葉をほかの言語から輸入して使うこともできます。

たとえば釘をクンキ kunkiと呼んだり、馬をウンマ ummaと呼んだりしますが、これらはもともとアイヌ社会にないので日本語を取り入れたわけです。

もう一つは、新しい事物を造語して表現する方法です。また、昭和時代まではまだアイヌ語を日常生活で使う人たちもいたので、もともとアイヌ社会になかった事物をアイヌ語で表現することがありました。

過去の資料で、旭川で電報をドナシカンピ tunaskampi(速い手紙)と呼んだとか、沙流地方で、電話をアエヌア aeinup(人がそれで声を聴くもの)と表現していたことが分かっています。

今後、現代生活の中でアイヌ語を使っていく中で、これらの問題を解決していく必要があります。実際に現代社会の事物を造語して表現して、アイヌ語の表現の可能性に挑戦する試みも行われています。

このテキストでは、アイヌ語に取り入れられた外来語や、かつてアイヌ語話者たちによって使われていた造語表現はいくつか使いましたが、新たに造語したりはせず、日本語もしくは日本語に取り入れられた外来語をそのまま使っています。

## 会話5 浦河へ

## 本文

空港でおじさんと合流した、テルケとモイレは、おじさんと一緒に明日以降の予定について話し合っています。

**アチャボ:**ニサッタ ウラカ オッタ イチャルパ アン クス バイエアシ ルウェ ネ。 明日浦河で先祖供養祭があるんで行くんだよ。

**テルケ:**カムイノミ ウサ アン、リムセ ウサ アン。ウドラ バイエアン。 儀式もあるし、踊りもあるよ。一緒にに行こうよ。

**モイレ:**アネキロロアン オルシベ ネ。 おもしろそう。

**アチャボ:**ウラカ オッタ レウシアシ ワ オヤシム オンネ エンルム オレン バイエアシ ルウェ ネ。浦河に泊まって、あさって襟裳岬に行くんだよ。

**テルケ:**オンネ エンルム タ ドカル ウサ オカイ、ラッコ ウサ オカイ。 襟裳岬にはアザラシもいるしラッコもいるんだよ。

**モイレ:**ソノ? エンドラ ヤン。オンネ エンルム パクノ クオマン エラムシカレ。 本当? 私も連れてって。襟裳岬には行ったことないんだよね。

**テルケ:**ニサッタ クンネイワ アルワン シク オッタ テサバ コッチャ タ ウヌカルアン ナ。 明日の朝、7時に駅の前で会おう。

**アチャボ:**イテッケ モイレ! 遅れちゃだめだぞ!

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
アシ	=as	人称接辞
アルワン	arwan	連体詞
アン	an	自動詞
アン	an=	人称接辞
アン	=an	人称接辞
イチャルパ	icarpa	名詞
イテッケ	itekke	副詞
ウサ	usa	副助詞
ウドラ	utura	副詞
ウヌカル	unukar	自動詞
ウラカ	Uraka	固有名詞
エキロロアン	ekiroroan	他動詞
エラムシカレ	eramuskare	助動詞
エン	en=	人称接辞
オカイ	okay	自動詞
オッタ	otta	位置名詞+後置詞
オマン	oman	自動詞
オヤシム	oyasim	副詞
オルシベ	oruspe	名詞
オレン	oren	位置名詞+後置詞
オンネ エンルム	Onne Enrum	固有名詞
カムイノミ	kamuynomi	名詞
ク	ku=	人称接辞
クス	kusu	接続助詞
クンネイワ	kunneywa	副詞
コッチャ	kotca	位置名詞
シク	sik	名詞
ソノ	sonno	副詞

アイヌ語	品詞	日本語訳
タ	ta	後置詞
テサバ	tesapa	名詞
ドカル	tukar	名詞
ドラ	tura	他動詞
ナ	na	終助詞
ニサッタ	nisatta	副詞
ネ	ne	他動詞
パクノ	pakno	後置副詞
パイエ	paye	自動詞
モイレ	moyre	自動詞
ヤン	yan	終助詞
ラッコ	rakko	名詞
リムセ	rimse	名詞
ルウェ	ruwe	形式名詞
レウシ	rewsi	自動詞
ワ	wa	接続助詞

## 今日の学習

## 1.ウラカ Urakaについて

ウラカウという地名の原名がウラルペツ Urarpet(霧の川)であるという説は、永田方正という人が書いた『北海道蝦夷語地名解』という本に初めて登場したようですが、現在はこの解説が定説のようになっています。本にそう書いてあります。

しかし、ウラカウという音とウラルペツという音がかなりかけ離れているので、本当にこの解説が正しいのか疑問が湧きます。実際問題、ウララベツというような表記は江戸時代の文献では見当たりません。

古い文献を見てみると、ウラカウという地名は、ウラカ(松浦武四郎)もしくはヲラカ(上原熊次郎・秦檍麻呂)がもとの音であると書いてあるものが複数あります。語源については不明としたり「動物の内臓」の意味だと書いてある文献もあります。また、沙流地方のカムイユカル kamuyyukar(神譜)に、ウラカウンクル Urakaunkur(浦河人)という言い方が出ています。ですから、ウラカ Urakaがより古い形であるようです。

## 2.オンネ エンルム Onne Enrum(襟裳岬)について

えりも町は、日高の南端にある漁師町です。えりも町の「えりも」は襟裳岬から来ていますが、もとはアイヌ語のエンルム enrumです。エンルム enrumは「岬」を意味する一般的な言葉です。様似にも「エンルム」と呼ばれる岬がありますし、室蘭市の絵鞆もエンルム enrumが語源です。

オンネ onneという言葉は「老いている」という意味ですが、「偉大である」というような意味もあります。かつて襟裳岬は地元のアイヌがカムイノミ kamuynomiを行なう神聖な場所で、付近でコンブをとったりはしなかったとのことです。

えりも町はもともと幌泉町という名前でした。幌泉町は、観光地として襟裳岬が有名になつたので1970年にえりも町に改称されました。ホロイズミは、アイヌ語のボロ エンルム Poro Enrum(大きな岬)から来ており、これも襟裳岬を指しているようです。

また、襟裳岬はネズミの形をしていると言われ、そこにネズミの大将がいるという伝承もあります。エルムンコタン Ermun-kotan(エルムン ermum)はネズミの意味)と呼ぶ人もいました。エンルム enrumとエルムン ermumは似ている言葉です。

## 3.シク sik(時)の言い方について

沙流方言でこういう言い方があったことが記録で残っています。もとは「目」を指す言葉と思われます。

## 4.テサバ tesapaについて

日本語の「停車場」が入ったものです。

## アイヌイタク Aynuitak の世界

## 浦河とアイヌ語

浦河町は日高地方東部にある町で、振興局もここにあり、日高地方の行政の中心地となってきた町です。町内各地に先住民族のアイヌの集落がありました。

現在の浦河町といつても、もとは、東部の浦河町と西部の荻伏村に分かれていました。両者は1956(昭和31)年に合併して一つになりました。

浦河町は広いので、西部(姉茶野深・荻伏・東栄など)と、東部(幌別・杵臼西舎など)とで、言葉や風習も若干違ったようです。西部のアイヌ語は三石や静内のアイヌ語により近く、東部のアイヌ語は様似や十勝のアイヌ語により近いようです。

江戸時代には、現在の元浦川河口付近に会所が設けられ、場所を請負人や藩士などの和人たちが浦河に住み着くようになりました。会所とは、和人が北海道各地に作った、交易・物流のための施設です。野深や姉茶のアイヌたちは、浦河の街をカイソル Kaysorと呼んでいたそうです。これは「会所」といふ日本語に位置名詞オル orがついた形です。この地名はアイヌ社会にすっかり定着してアイヌ語話者たちはアイヌ語だと思っていたようです。

浦河に和人が多数移住したのは明治以降で、荻伏に赤心社というキリスト教の開拓団が神戸から入植したことが有名です。

開拓が進む中で、アイヌ語・アイヌ文化も衰退を余儀なくされました。ほんの5~60年前まではアイヌ語を流暢に話し、物語を語る古老が各地にいました。アイヌ民族の人口も多く、アイヌ文化伝承活動も活発に行われてきた場所ですが、意外に浦河のアイヌ語の記録で公刊されているものは少ないようです。辞典も出ていません。ただ、研究者や関係機関・放送局のもとに眠っている資料がまだあるようです。

このテキストは、これまでさまざまな人たちによって残された資料を活用させてもらいました。改めて浦河のアイヌ語を語り残した伝承者(浦川タレさん・富良野シネンコさん・浦川イワさんら)、後世に浦河のアイヌ語を記録して残してくれた記録者(横田あゆみさん・浅井亨さんら)の方々に敬意を表したいと思います。

## 山バトの歌

## 本文

今回は、最後のレッスンです。浦河に伝わる山バトの歌を勉強します。

クスイエプ ドド  
kusuyep tutu

フチ ワッカタ  
huci wakkata

ハポ スケ  
hapo suke

エンチパッカイテ  
enci=pakkayte

クコチャン キ コ  
ku=kocan ki ko

エンチトクトキ  
enci=toktoki

エンチヤクヤキ  
enci=yakyaki

山バト ドド

おばあさんは水くみ

お母さんは料理

僕はおんぶさせられる

僕が嫌がると

僕は突っつかれる

僕はつぶされる

## 単語

アイヌ語	品詞	日本語訳
エンチ	enci=	人称接辞 僕が～される
キ	ki	代動詞 ～する
ク	ku=	人称接辞 僕
コ	ko	接続助詞 ～すると
コチャン	kocan	他動詞 ～を嫌がる
スケ	suke	自動詞 料理する
トクトキ	toktoki	他動詞 ～を突っつく
ドド	tutu	間投詞 山バトの鳴き声
ハポ	hapo	名詞 お母さん
フチ	huci	名詞 おばあさん
パッカイテ	pakkayte	他動詞 ～に子守をさせる
ヤクヤキ	yakyaki	他動詞 ～をつぶす
ワッカタ	wakkata	自動詞 水くみをする

## 今日の学習

## 1. この歌について

山バトの鳴き声の「聞きなし」の歌です。鳥や動物、虫の鳴き声を人間の言葉に置き換えたものを「聞きなし」と言います。

この歌に似た歌は全道各地に伝わっていますが、歌詞は少しずつ違います。子守を頼まれた子供が嫌がつて、親にせつかんされるという部分は日高東部から道東にかけて共通です。

## 2. クスイエプ kusuyep(山ばと)について

北海道に生息する野生のハトです。山バトは俗称で、キジバトが一般的な和名です。羽にキジのような模様

が入っています。神社や公園にいるいわゆる普通のハト(ドバト・カワラバト)とは別です。ドバトは外来種で、北海道にもとからいる野生のハトは、このキジバトとアオバトのみです。

浦河では、トイタチル toytacirという呼び名もあったようです。トイタ toyta(耕す)というのは、春、畑を起こす頃になると、この鳥が畑に下りてきて、虫を食べるために地面を突つつくのだそうです。その様子をトイタ toytaと表現しているわけです。

## 3. 人称接辞エンチ enci=

「私が～される」という意味の人称接辞です。仮にこれがエントトキ en=toktoki・エンヤクヤキ en=yakyaki だと、誰かが「私を突つつく」「私をつぶす」という意味になり、受身にはなりません。エンチ enci=の「チ ci」の音が濁って「エンチ」と発音されることもあります。

## 4. パッカイテ pakkayte

パッカイ pakkayが「子供を背負う」という意味の自動詞で、テ -teがつくことによって「～させる」という意味の使役形になります。

昔は家族も多く、5人兄弟、6人兄弟は当たり前でした。そういった時代、年上の子供が弟や妹をおんぶをしてお守りすることは当たり前のことでした。この歌では、自分の弟もしくは妹をおんぶしてお守りするよう親に言われたにもかかわらず、それを嫌がった子供が親に怒られるわけです。

## ♪アイヌイタクAynuitakの世界♪

## アイヌ語を学ぶ意味

この講座でアイヌ語を学んでいる皆さん、なぜアイヌ語を学んでいるのでしょうか?

ある人は、アイヌ文化に関心があってとか、アイヌの物語に関心があるとか、アイヌの歌が歌えるようになりたいとか、純粋に文法などの言語学的な興味とか、自分のアイヌとしてのルーツを確認するためなど、動機はそれぞれでしょう。答えは一つではないと思います。

英語や中国語などの外国語の場合、外国人の人と話せるようになりたい、外国に旅行する時に使いたいとか、仕事のためとか、そういう実用的な意味が大きいだろうと思います。

中には、「日常生活でほとんど使われることのないアイヌ語を勉強しても意味がないんじゃないかな」「どうせなら英語や中国語など、勉強して役に立つ外国語を勉強した方がいいのでは」という考えの人もいるかもしれません。もちろん人それぞれ考えがあると思います。

アイヌ民族にとってアイヌ語は自分のルーツにつながる言葉です。「言葉は民族の魂」と言う人もいます。

数々残されているアイヌ民族の伝承文学(口承文芸)も、ただ日本語訳を読んでも内容は分かるでしょうが、言葉の深い意味を味わったり、音の響きを味わうにはやはりアイヌ語の知識が必要です。

シャンソンを聴いたり歌うならばもちろんフランス語の知識が必要でしょうし、フラをやる人ならばやはりハワイアンの歌詞の意味を理解するためハワイ語を勉強しなければなりません。ロシア文学を学ぶならばロシア語の知識が必要です。

アイヌ文化を深く学ぶにはやはりアイヌ語の知識が必要です。

例えば北海道をはじめ各地に残されているアイヌ語地名を勉強するだけでも、そこに代々暮らしてきた先住民族アイヌが自然にどう向き合って生きてきたか、その精神に触れることができると思います。草の呼び名、鳥の名前をとっても、アイヌ民族の自然観、世界観が背景にあります。

この地球上には、何百、何千の言語があります。英語や中国語のように、億単位の人が話す言語もありますし、日本語のように1億2千万程度の言語もありますし、数百、数十人、もしくははたった数人の話者しかいない少数言語も数多くあります。

それらの言語の一つ一つが固有の価値を持っており、一朝一夕でできたものではありません。長い歳月の中で磨かれながら伝えられてきた文化遺産です。アイヌ語もそのうちの一つです。

アイヌ語をよく知らない人の中には「アイヌ語に文法なんてないんじゃないのか」とか「文字もないし、単語も少ない簡単な言語じゃないのか」と誤解している人もいます。この講座でアイヌ語を学んだ皆さん、十分お分かりかと思いますが、アイヌ語は人称接辞や動詞の单複、名詞の変化など、日本語にない特徴もあり、なかなか複雑な構造をしています。合成語の構成法なども非常に合理的な面白い仕組みを持っています。

この講座の支援研究者二人(太田・大野)もそれぞれアイヌ語の魅力に惹かれて長年アイヌ語を勉強してきた者です。アイヌ語にそれだけの価値があるものであると私たちは思っています。

講師の祖母である遠山サキさんから、以下のメッセージをいただいています。

「この講座でアイヌ語を勉強している皆さん、ありがとうございます。これは本当に大事なことだから、これからも頑張って勉強してください。ハリキキ ヤン(頑張ってください)。」

1年間、この講座で勉強してきたことはアイヌ語の基礎です。皆さん、アイヌ語の世界の入口に入ったばかりです。アイヌ語の世界は奥深いのです。これからも学び続けてください。

# アイヌ語ラジオ講座収録テープ及び ミニディスク(MD)の貸出しについて

## 1.利用時間

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時~午後5時(月~金)  
アイヌ文化交流センター:午前10時~午後6時

## 2.休業日

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日~1月3日)  
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日~1月3日)

## 3.申込手続から受取

裏面の申込用紙を当財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。  
また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

## 4.期間

申込みの日から14日以内に返却してください。

## 5.お問合せ先

(公財)アイヌ文化振興・研究推進機構	アイヌ文化交流センター
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1-7(5階) TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181 e-mail : ainu@frpac.or.jp	〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号 アーバンスクエア八重洲(3階) TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155 e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

## アイヌ語ラジオ講座収録テープ・ミニディスク(MD)の貸出申込用紙

*申込番号	申込日 平成 年 月 日			
*返却期日	平成 年 月 日	*返却日	平成 年 月 日	
住所	〒 -		氏名	
年齢	才	性別	男・女	職業
連絡先	電話: FAX:			
希望教室	平成10年度 札幌 千歳 平取 旭川 平成11年度 白老 鈎路 登別 静内 平成12年度 白糠 浦河 鶴川 帯広 平成13年度 白老① 白老② 登別① 登別② 平成14年度 白糠① 白糠② 鶴川① 鶴川② 平成15年度 平取① 平取② 平取③ 平取④ 平成16年度 旭川① 旭川② 旭川③ 旭川④ 平成17年度 静内① 静内② 静内③ 静内④ 平成18年度 様似① 様似② 様似③ 様似④ 平成19年度 平取① 平取② 平取③ 平取④ 平成20年度 旭川① 旭川② 旭川③ 旭川④ 平成21年度 静内① 静内② 静内③ 静内④ 平成22年度 白老① 白老② 白老③ 白老④ 平成23年度 旭川① 旭川② 旭川③ 旭川④ 平成24年度 鶴川① 鶴川② 鶴川③ 鶴川④ 平成25年度 浦河① 浦河② 浦河③ 希望教室を○で囲んでください。			
特記事項				

注1 \*印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

## リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などを記入の上、お送りください。

のりしろ  
(キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。  
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

## アイヌ語ラジオ講座アンケート

(年齢 才 男・女 )

### I この講座についてお尋ねします。

問1 この講座をなにで知りましたか。

- ①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他( )

問2 この講座を何回くらい聴いていますか。

- ①月に1回 ②月に2~3回 ③毎週 ④その他( )

問3 この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。

- ①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・MD

問4 この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。

- ①もっと短く( 分位) ②このままで良い ③もっと長く( 分位)

問5 この講座の内容について、どう思われますか。

ア)「アイヌ語の例文紹介」について

- ①わかり易い ②普通 ③わかりにくい( )

イ)「アイヌ語の解説」について

- ①わかり易い ②普通 ③わかりにくい( )

ウ)「アイヌ文化の紹介」について

- ①わかり易い ②普通 ③わかりにくい( )

問6 テキストの内容について、どう思われますか。

- ①もっと詳しく ②このままで良い ③もっと詳しく( )

### II これからのお尋ねします。

問7 この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。

- ①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い( )

問8 現在の内容のほか、どのような話を聞きたいですか。

- ①アイヌ語を学ぶきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介  
④その他( )

問9 「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。

- ①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他( ) ②ない

### III その他のご意見があればお聞かせください。

のりしろ  
(キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。  
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせ  
てください。

